



## 2021年4月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年6月11日

上場会社名 株式会社スマレジ 上場取引所 東  
 コード番号 4431 URL <https://corp.smaregi.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山本 博士  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 田川 良行 (TEL) 06-7777-2405  
 定時株主総会開催予定日 2021年7月28日 配当支払開始予定日 —  
 有価証券報告書提出予定日 2021年7月29日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から動画配信を予定)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年4月期の業績 (2020年5月1日～2021年4月30日)

## (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年4月期	3,324	2.3	845	12.6	846	12.6	583	6.7
2020年4月期	3,249	64.4	751	74.0	751	83.9	547	86.7

  

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年4月期	60.50	59.54	16.7	19.8	25.4
2020年4月期	58.06	55.70	18.0	20.6	23.1

(参考) 持分法投資損益 2021年4月期 ー百万円 2020年4月期 ー百万円

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年4月期	4,499	3,676	81.7	378.76
2020年4月期	4,055	3,321	81.9	352.09

(参考) 自己資本 2021年4月期 3,676百万円 2020年4月期 3,321百万円

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年4月期	772	△103	△228	3,611
2020年4月期	730	△190	△91	3,170

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年4月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

## 3. 2022年4月期の業績予想 (2021年5月1日～2022年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,001	20.4	594	△29.7	595	△29.7	415	△28.8	42.78

(注) 2022年4月期の業績予想は、新型コロナウイルス感染拡大による影響等について、現時点において当社が把握している情報をもとに算出しております。詳細は、添付資料5ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 有 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(注) 詳細は、添付資料12ページ、「3. 財務諸表及び主な注記 (5) 財務諸表に関する注記事項 (会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(2) 発行済株式数 (普通株式)

- |                      |
|----------------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) |
| ② 期末自己株式数            |
| ③ 期中平均株式数            |

2021年4月期	9,780,900 株	2020年4月期	9,433,400 株
2021年4月期	73,964 株	2020年4月期	39 株
2021年4月期	9,650,894 株	2020年4月期	9,422,877 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算説明に関しましては、2021年6月21日(月)13時以降に当社ウェブサイトにて動画配信を予定しております。また決算補足説明資料については、事前にTDnet及び当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 貸借対照表 .....	6
(2) 損益計算書 .....	8
(3) 株主資本等変動計算書 .....	10
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(表示方法の変更) .....	12
(株主資本等変動計算書関係) .....	12
(会計上の見積りの変更) .....	12
(追加情報) .....	12
(持分法損益等) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度（2020年5月1日から2021年4月30日まで）においては、企業収益や雇用、所得環境の改善が続く中、各種政策を背景とし、三度にわたる緊急事態宣言の影響を受けながらも、緩やかな回復傾向が続きました。国内外の経済の先行きについては、新型コロナウイルス感染症の感染再拡大によるリスクや、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社は顧客ニーズを満たすための新たな施策として、スマレジ・アプリマーケットを軸に、アプリコンテストを開催したり、従来とは異なった視点から当社サービスの充実を図ってきました。また、コロナ禍においてもオンライン商談はもちろん、感染予防策を講じた上での対面商談を充実させ、主要都市へ低コスト型のショールームを展開し、顧客の獲得に努めてきました。その結果、当事業年度末には当社主力サービス「スマレジ」の登録店舗数が96,000店舗を突破いたしました。

他方、当社は第4四半期会計期間において、当社サービスとシナジー効果を得られる可能性を秘めたサービスを展開する企業に対し、「スマレジ・ベンチャーズ」として資本業務提携を行いました。提携先が提供するサービスとの連携によって、当社サービスの機能向上や、投資先企業の事業成長を加速させることが期待されます。

また、2021年3月には、「長期ビジョン・中期経営計画VISION2031」を発表しました。当社主力サービス「スマレジ」のサービス開始から10周年を迎え、広告宣伝費の投下、アプリマーケットの活性化、当社サービス「スマレジ・タイムカード」の更なる成長及びクリエイティブ人材の育成を軸に、当社事業の拡大のみならず、我が国の経済発展に寄与してゆく所存です。

以上の結果、当事業年度の業績につきましては、売上高は3,324百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益は845百万円(前年同期比12.6%増)、経常利益は846百万円(前年同期比12.6%増)、当期純利益は583百万円(前年同期比6.7%増)となりました。

なお、当社はクラウドサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

## 販売高前年同期比

(単位：千円)

販売実績	前事業年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当事業年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)	前年同期比(%)
クラウドサービス月額利用料等	1,549,842	1,851,638	119.5
クラウドサービス関連機器販売等	1,685,120	1,462,794	86.8
その他	15,022	10,019	66.7
合計	3,249,986	3,324,452	102.3

「スマレジ」の登録店舗数、アクティブ店舗数及び累積取扱高の推移は以下のとおりであります。

登録店舗数の推移

	2017年4月	2018年4月	2019年4月	2020年4月	2021年4月
スタンダード	30,381	44,113	55,897	67,895	76,745
プレミアム	764	1,257	1,710	2,755	3,212
プレミアムプラス	1,400	1,977	3,077	4,976	6,425
フードビジネス	845	1,332	2,035	2,687	3,179
リテールビジネス	2,223	2,934	4,028	5,481	6,604
フード&リテール	33	41	74	104	148
店舗合計	35,646	51,654	66,821	83,898	96,313

※スタンダードは無料プランとなっております。それ以外は有料プランとなっております。プラン毎にサービス内容が異なります。また店舗数の定義は、有料プラン無料プランに関わらず、実際に「スマレジ」でサインアップを行い、登録された店舗数です。お客様1社が複数の店舗を保有されている場合は、その店舗数分カウントされます。

アクティブ店舗数（プラン別登録店舗数に対するアクティブ店舗数の比率(%)）の推移

	2017年4月	2018年4月	2019年4月	2020年4月	2021年4月
スタンダード	2,151 (7.1)	3,001 (6.8)	3,681 (6.6)	4,889 (7.2)	6,012 (7.8)
プレミアム	712 (93.2)	1,178 (93.7)	1,598 (93.5)	2,308 (83.8)	3,029 (94.3)
プレミアムプラス	1,305 (93.2)	1,850 (93.6)	2,771 (90.1)	4,640 (93.3)	6,169 (96.0)
フードビジネス	779 (92.2)	1,265 (95.0)	1,931 (94.9)	2,473 (92.0)	3,022 (95.1)
リテールビジネス	2,116 (95.2)	2,839 (96.8)	3,872 (96.1)	5,210 (95.1)	6,382 (96.6)
フード&リテール	32 (97.0)	36 (87.8)	64 (86.5)	96 (92.3)	145 (98.0)
アクティブ 店舗合計	7,095 (19.9)	10,169 (19.7)	13,917 (20.8)	19,616 (23.4)	24,759 (25.7)

累積取扱高の推移

	2017年4月	2018年4月	2019年4月	2020年4月	2021年4月
累積取扱高 (百万円)	569,857	1,071,316	1,769,706	2,610,754	3,468,715

※累積取扱高とは、クラウド型POSレジ「スマレジ」のサービス開始以降、ユーザーが「スマレジ」を使って販売した商品やサービスの金額の合計をいいます。

## (2) 当期の財政状態の概況

## ① 資産

当事業年度末における流動資産は、前事業年度末に比べて466百万円増加し、3,943百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が441百万円、前渡金が50百万円増加したこと等によるものであります。当事業年度末における固定資産は、前事業年度末に比べて22百万円減少し、556百万円となりました。この主な要因は、無形固定資産が53百万円増加したものの、有形固定資産が63百万円、敷金が33百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ444百万円増加し、4,499百万円となりました。

## ② 負債

当事業年度末における流動負債は、前事業年度末に比べて94百万円増加し、741百万円となりました。この主な要因は、未払金が89百万円減少したものの、前受金が148百万円増加したこと等によるものであります。当事業年度末における固定負債は、前事業年度末に比べて5百万円減少し、81百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ88百万円増加し、822百万円となりました。

## ③ 純資産

当事業年度末における純資産合計は、前事業年度末に比べて355百万円増加し、3,676百万円となりました。これは、資本金及び資本剰余金がそれぞれ43百万円増加したこと、当期純利益を583百万円計上したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前事業年度末に比べ441百万円増加し、3,611百万円となりました。

当事業年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は772百万円(前事業年度は730百万円の獲得)となりました。これは主に、税引前当期純利益846百万円の計上、法人税等の支払額287百万円及び未払金91百万円の減少等による資金の減少があったものの、減価償却費122百万円の計上、売上債権106百万円の減少等による資金の増加があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は103百万円(前事業年度は190百万円の使用)となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出99百万円及び投資有価証券の取得による支出20百万円があったこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は228百万円(前事業年度は91百万円の使用)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出315百万円があったこと等によるものであります。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しといたしましては、依然として新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済活動の自粛が懸念されるものの、当該感染症に有効なワクチンの普及により、我が国や世界においても経済活動の正常化が進むことが期待されます。

当社においては、スマレジ・アプリマーケットやスマレジ・ベンチャーズを中心として、当社サービスをプラットフォームへと進化させて、エコシステムの形成に取り組んでゆきます。また、アフターコロナを見据えた行動変容に対してネットショップとの連携、セルフレジ、テイクアウトやデリバリー等に順次対応し、長期ビジョン・中期経営計画に掲げた事項の実現に向けて邁進してゆく所存です。

業績に関する見通しとしては、2021年4月期は新型コロナウイルス感染症の流行下でも増収となったことや、前述の経済活動の正常化に伴い、当社でも従来の成長フェーズに戻ると見込んでおります。これに伴い、2021年4月期の2倍以上の費用を見込んだ積極的なマーケティングや広告の施策を予定しており、今後も更なる高成長を目指してゆきます。

以上から、2022年4月期の業績予想といたしましては、売上高4,001百万円(前年同期比20.4%増)、営業利益594百万円(前年同期比29.7%減)、経常利益595百万円(前年同期比29.7%減)、当期純利益415百万円(前年同期比28.8%減)を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年4月30日)	当事業年度 (2021年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,170,071	3,611,118
売掛金	100,924	142,950
商品	186,207	104,711
前払費用	19,436	34,045
その他	831	51,122
貸倒引当金	△775	△615
流動資産合計	3,476,696	3,943,333
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	205,333	143,674
工具、器具及び備品（純額）	3,864	2,459
有形固定資産合計	209,198	146,133
無形固定資産		
商標権	1,018	890
ソフトウェア	124,672	142,177
ソフトウェア仮勘定	8,055	43,682
無形固定資産合計	133,746	186,749
投資その他の資産		
投資有価証券	—	20,000
出資金	18	18
敷金	202,750	169,527
長期前払費用	381	73
繰延税金資産	32,548	33,509
投資その他の資産合計	235,698	223,128
固定資産合計	578,643	556,011
資産合計	4,055,339	4,499,345



(単位：千円)

	前事業年度 (2020年4月30日)	当事業年度 (2021年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	92,608	124,095
未払金	191,163	101,651
未払費用	34,863	30,286
未払法人税等	190,828	181,426
未払消費税等	64,406	80,119
前受金	44,293	192,368
預り金	29,002	31,703
その他	22	39
流動負債合計	647,186	741,690
固定負債		
資産除去債務	86,745	81,022
固定負債合計	86,745	81,022
負債合計	733,932	822,713
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,098,058	1,141,550
資本剰余金		
資本準備金	1,068,388	1,111,880
資本剰余金合計	1,068,388	1,111,880
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,155,101	1,739,024
利益剰余金合計	1,155,101	1,739,024
自己株式	△140	△315,823
株主資本合計	3,321,407	3,676,632
純資産合計	3,321,407	3,676,632
負債純資産合計	4,055,339	4,499,345

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当事業年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
売上高	3,249,986	3,324,452
売上原価	1,329,859	1,262,845
売上総利益	1,920,126	2,061,607
販売費及び一般管理費	1,168,929	1,216,132
営業利益	751,197	845,474
営業外収益		
受取利息	28	31
その他	494	1,273
営業外収益合計	522	1,305
営業外費用		
支払利息	35	23
その他	—	200
営業外費用合計	35	223
経常利益	751,684	846,556
税引前当期純利益	751,684	846,556
法人税、住民税及び事業税	224,113	263,594
法人税等調整額	△19,564	△960
法人税等合計	204,548	262,634
当期純利益	547,135	583,922

## 【売上原価明細書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)		当事業年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 労務費		202,986	67.7	254,329	65.6
II 経費	※1	97,044	32.3	133,343	34.4
当期総製造費用		300,031	100.0	387,673	100.0
他勘定振替高	※2	75,428		110,403	
当期製品製造原価		224,603		277,269	
期首商品棚卸高		81,277		190,851	
当期商品仕入高		1,217,916		904,079	
商品評価損		△3,085		△219	
合計		1,296,107		1,094,710	
期末商品棚卸高		190,851		109,135	
商品売上原価		1,105,256		985,575	
売上原価		1,329,859		1,262,845	

(注) ※1 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当事業年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
減価償却費(千円)	44,696	55,851
外注加工費(千円)	15,026	27,303
支払報酬料(千円)	12,259	23,617
地代家賃(千円)	17,627	19,916

※2 他勘定振替高の内容は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当事業年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
ソフトウェア仮勘定(千円)	56,437	101,581
研究開発費(千円)	18,990	8,712
その他(千円)	—	109
計	75,428	110,403

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、プロジェクト別個別原価計算による実際原価計算であります。

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産合計	
	資本金	新株式申込 証拠金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式		株主資本 合計
			資本準備金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	1,095,268	360	1,065,598	1,065,598	607,965	607,965	—	2,769,192	2,769,192
当期変動額									
新株の発行(新株予約 権の行使)	2,790	△5,580	2,790	2,790				—	—
新株式申込証拠金の 払込		5,220						5,220	5,220
当期純利益					547,135	547,135		547,135	547,135
自己株式の取得							△140	△140	△140
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)									—
当期変動額合計	2,790	△360	2,790	2,790	547,135	547,135	△140	552,215	552,215
当期末残高	1,098,058	—	1,068,388	1,068,388	1,155,101	1,155,101	△140	3,321,407	3,321,407

当事業年度(自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産合計	
	資本金	新株式申込 証拠金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式		株主資本 合計
			資本準備金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	1,098,058	—	1,068,388	1,068,388	1,155,101	1,155,101	△140	3,321,407	3,321,407
当期変動額									
新株の発行(新株予約 権の行使)	43,492		43,492	43,492				86,985	86,985
新株式申込証拠金の 払込								—	—
当期純利益					583,922	583,922		583,922	583,922
自己株式の取得							△315,683	△315,683	△315,683
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)									—
当期変動額合計	43,492	—	43,492	43,492	583,922	583,922	△315,683	355,224	355,224
当期末残高	1,141,550	—	1,111,880	1,111,880	1,739,024	1,739,024	△315,823	3,676,632	3,676,632

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当事業年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	751,684	846,556
減価償却費	63,556	122,700
長期前払費用償却額	1,579	308
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	170	△160
受取利息及び受取配当金	△28	△31
支払利息	35	23
売上債権の増減額 (△は増加)	21,138	106,049
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△112,660	81,496
仕入債務の増減額 (△は減少)	9,107	△18,537
未払金の増減額 (△は減少)	59,572	△91,311
その他	39,364	13,411
小計	833,521	1,060,505
利息及び配当金の受取額	28	31
利息の支払額	△35	△23
法人税等の支払額	△103,210	△287,738
営業活動によるキャッシュ・フロー	730,303	772,775
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,498	—
無形固定資産の取得による支出	△58,017	△99,781
投資有価証券の取得による支出	—	△20,000
差入保証金の差入による支出	△126,779	△6,384
差入保証金の回収による収入	407	39,606
資産除去債務の履行による支出	—	△16,469
その他	△1,579	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△190,469	△103,028
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△96,414	—
株式の発行による収入	5,220	86,985
自己株式の取得による支出	△140	△315,683
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91,334	△228,698
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	448,499	441,047
現金及び現金同等物の期首残高	2,721,571	3,170,071
現金及び現金同等物の期末残高	3,170,071	3,611,118

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(キャッシュ・フロー計算書)

前事業年度において、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「自己株式の取得による支出」は、重要性が増したため、当事業年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前事業年度のキャッシュ・フロー計算書において、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた△140千円は、「自己株式の取得による支出」△140千円として組み替えております。

(株主資本等変動計算書関係)

当社は、2020年10月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式73,900株の取得を行っております。この結果、当事業年度において、自己株式が315,553千円増加し、当事業年度末において自己株式が315,823千円となっております。

(会計上の見積りの変更)

(耐用年数及び資産除去債務の見積りの変更)

当社は、2020年5月15日開催の取締役会において、恵比寿ショールーム及び札幌サポートセンターの退去について決議を行っております。これにより、利用見込みのない固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

また、当社の不動産賃貸借契約に伴う原状回復費用として計上していた資産除去債務について、より精緻な見積りが可能になったため、見積額の変更をしております。

この見積りの変更により資産除去債務残高が9,184千円増加し、従来の方法に比べて当事業年度の営業利益、経常利益及び税引前当期純利益がそれぞれ28,345千円減少しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴う会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響について、当事業年度の業績には大きな影響は出ておりませんが、本感染症は経済、企業活動に多大な影響を与えるものであります。

当社は、当該影響が翌事業年度の一定期間にわたり継続するものの、その後ゆるやかに回復する仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っておりますが、今後の新型コロナウイルス感染症の収束時期及び状況によっては、翌事業年度以降の財務諸表において重要な影響を与える可能性があります。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、クラウドサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当事業年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
1株当たり純資産額	352円09銭	378円76銭
1株当たり当期純利益	58円06銭	60円50銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	55円70銭	59円54銭

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)	当事業年度 (自 2020年5月1日 至 2021年4月30日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	547,135	583,922
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	547,135	583,922
普通株式の期中平均株式数(株)	9,422,877	9,650,894
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	400,254	155,907
(うち新株予約権(株))	(400,254)	(155,907)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。